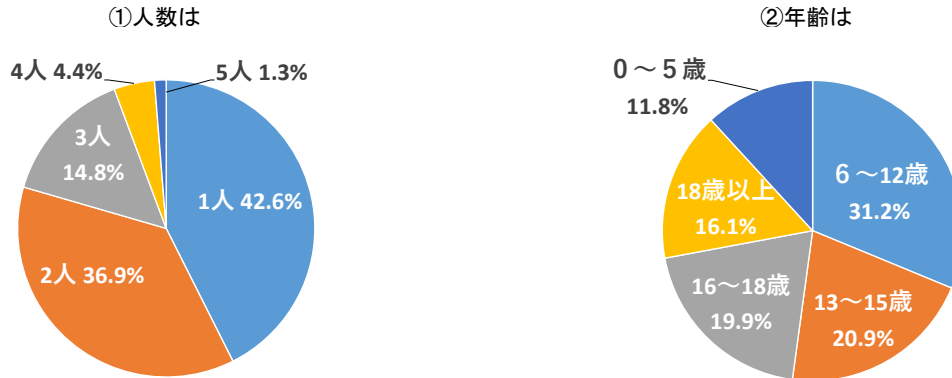


4 調査結果概要

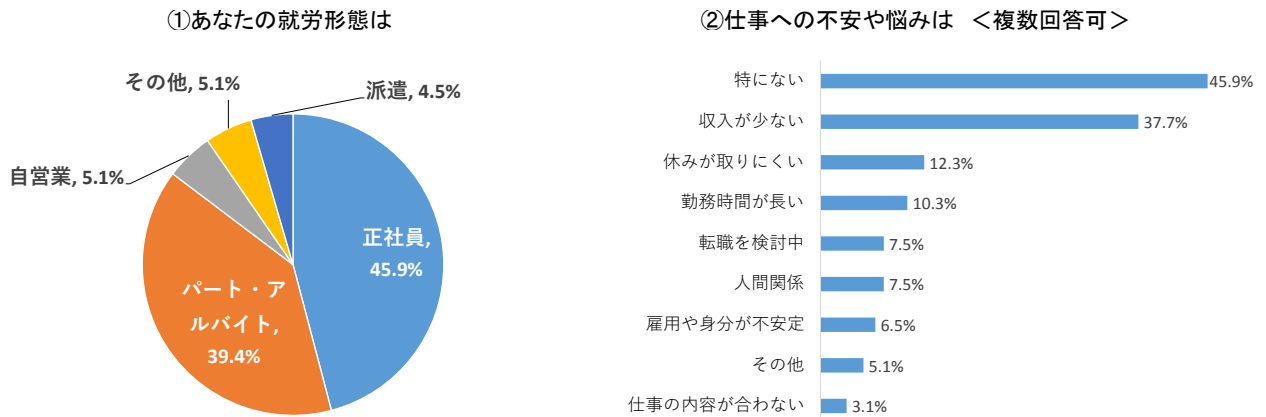
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、必ずしも100とはならない。

問1 お子さんについて



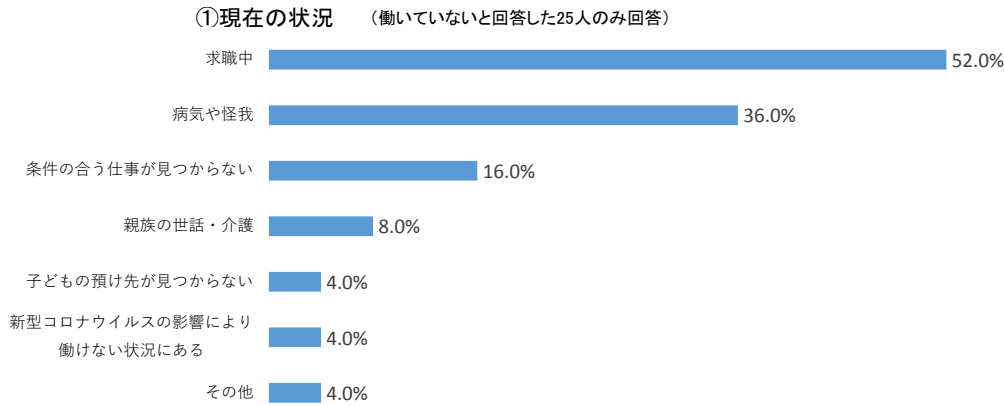
- ・子どもの人数は「1人」の割合が42.6%と最も高く、次いで「2人」の割合が36.9%となっている。
- ・小学生の年齢「6～12歳」の子どもが31.2%と最も高い。
- ・今後、進学に向けた学費が必要となる可能性の高い年齢の子どもは約4割である。(13～15歳:20.9%、16～18歳:19.9%)

問2・3 働いている親の就業状況 (参考:働いていると回答した親 92.1% 働いていないと回答した親 7.9%)



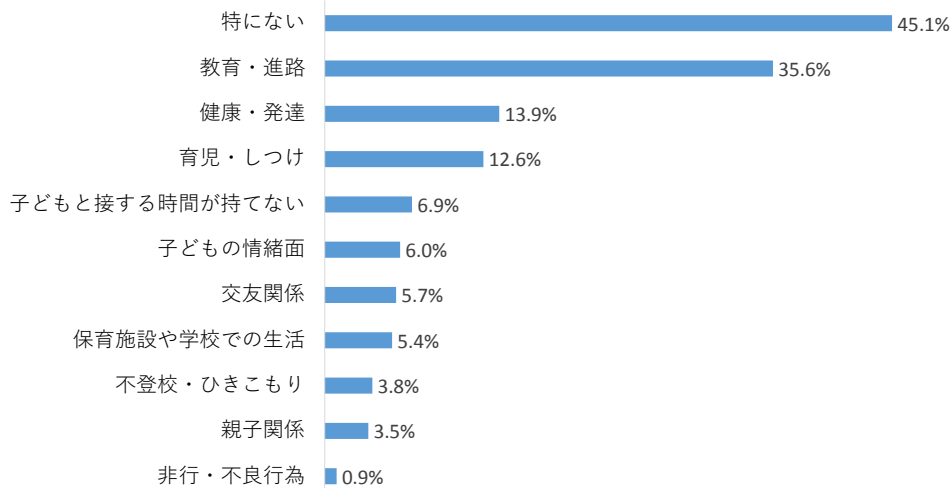
- ・9割以上(92.1%)が就労している。
- ・「働いていない」と回答した方(7.9%)が昨年と比べ増えている。(昨年5.8%)
- ・就労形態では、「正社員」が45.9%と最も高い。「パート・アルバイト」・「派遣」の合計は、43.9%で正社員と変わらない。
- ・悩みの内容については、「特にない」の割合が最も高く、45.9%であった。次いで「収入が少ない」が37.7%となっており、特にパート・派遣の方に多くみられた。また、「雇用や身分が不安定」「転職を検討中」という方も多くみられた。
- ・正社員の方に多く見られたのが、「休みが取りにくい」(12.3%)、「勤務時間が長い」(10.3%)であった。

問4 働いていない(無職)親の状況<複数回答可>



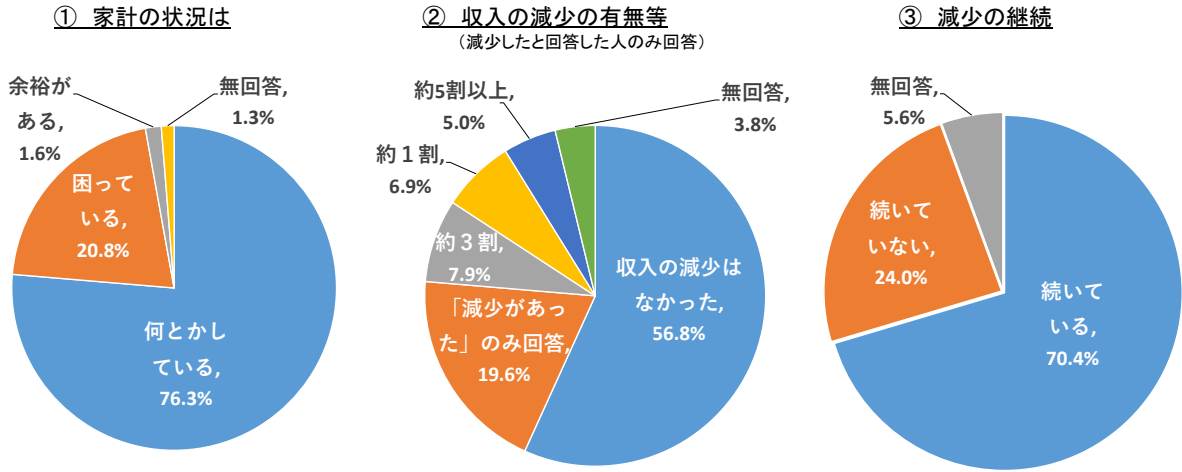
・「働いていない」と回答した方のうち、「求職中」の割合が52.0%と最も高く、次いで「病気や怪我」の割合が36.0%となっている。
 ・新型コロナウイルスの影響で失業したり働けない状況にある方は4%(1人)であった。

問5 お子さんについての悩みについて<複数回答可>



・約半数の方が悩みをもっており、その内「教育・進路」の割合が、35.6%と最も高く、次いで「健康・発達」の割合が13.9%、「育児・しつけ」の割合が12.6%となっている。
 ・「特にない」の割合は45.1%であった。

問6、7、7-2 新型コロナウイルスの影響【現在の家計の状況、収入の変化、減少の割合等】

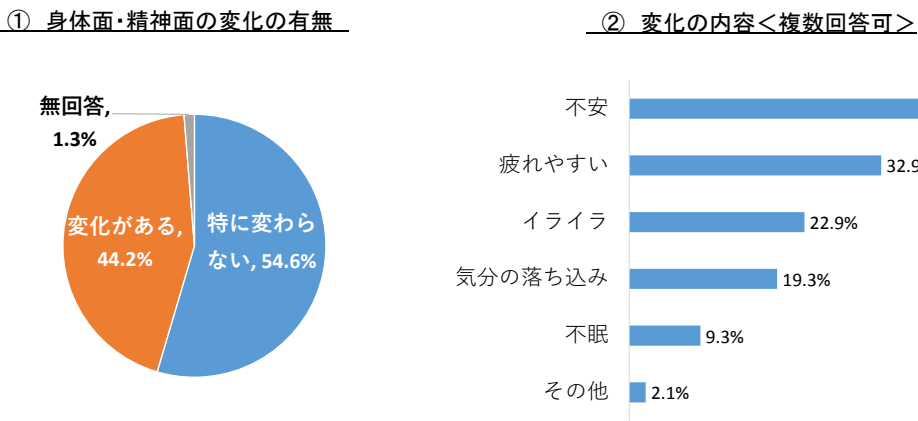


・家計の状況については、「何とかしている」の割合が76.3%で最も多く、「困っている」の割合が20.8%であった。

・収入の減少の有無やその割合については、「収入の減少はなかった」の割合が56.8%で最も多く、「収入の減少があった」の割合が39.4%であった。「収入の減少があった」と回答した方内、約1割と回答した方が6.9%、約3割が7.9%、約5割以上が5.0%であった。(割合についての記載がない方が19.6%あった。)

・「収入の減少があった」と回答した方内、「収入の減少の継続」について、「続いている」の割合が70.4%で最も高く、「続いていない」の割合が24.0%であった。

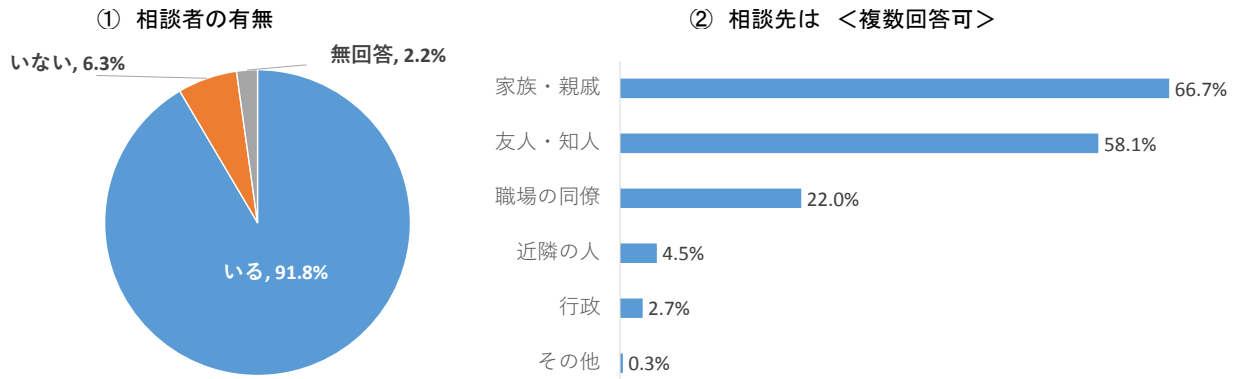
問8 新型コロナウイルスの影響【身体面・精神面】



・新型コロナウイルスの影響による身体面・精神面の変化について、「特に変わらない」の割合が54.6%で、「変化がある」の割合が44.2%となっている。

・身体面・精神面の変化で、「ある」と答えた方うち、「不安」の割合が48.6%と最も高く、次いで「疲れやすい」の割合が32.9%、「イライラ」の割合が22.9%、「気分の落ち込み」が19.3%となっている。

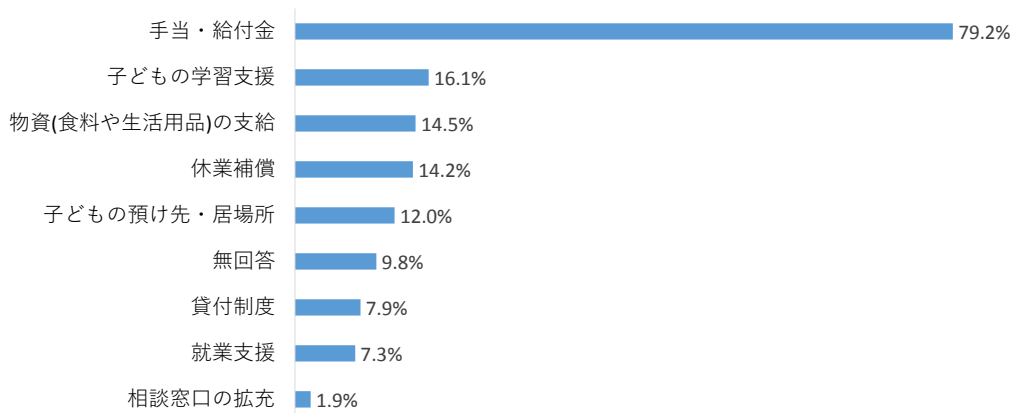
問9 相談者の状況



・身近に相談者が「いる」は91.8%、「いない」は6.3%であった。

・身近な相談者の中では、「家族・親戚」の割合が66.7%と最も高く、次いで、「友人・知人」の割合が58.1%となっている。

問10 必要な支援について <3つまで>



・必要だと感じている支援は、「手当・給付金」が79.2%と最も高く、次いで「子どもの学習支援」の割合が16.1%、「物資の支給」の割合が14.5%となっている。

・「子どもの学習支援」では、聞き取りで、塾や習い事等の費用に困っていると言われる方が多く、ひとり親ではなかなか通わせるお金がないと言われる方が多かった。

◎ ひとり親家庭アンケート まとめ

・新型コロナウイルスの影響で収入が減少した世帯は、約4割(125人)で、その内、収入の減少が続いている世帯は、約7割(88人)であった。また、現在の家計の状況について、「困っている」世帯の割合は、66人であった。

・正社員の割合は45.9%と昨年(45.0%)とほぼ同じで、パート・アルバイトと派遣(43.9%)を上回ったが、パートや派遣は、4割以上である。「収入が少ない」「安定しない」ということで悩まれている方が多く、転職したいが、その間の生活費をどうしようかと悩まれている方も多い。その一方で、正職員の方は、「勤務時間が長い」、「休みが取りにくい」といった状況があり、子どもの成長に合わせ転職を希望される方もある。

・ひとり親が安定した仕事に就き、経済状況の改善を図るためにも、資格取得制度や転職希望者・求職者への仕事相談窓口や出張ハローワークなどのさらなる周知が必要である。

・身近に相談者がいないと回答した方(6.3%)は、昨年(9.6%)より少なかった。しかし、半数以上のひとり親が悩みをかかえていることから、現況届提出時や窓口来所時に声掛けを行い、相談できる場としての周知を行っていくとともに、個々の家庭が必要とする支援を行う。

・アンケート調査結果については、対象世帯に対して結果の一部を公表するとともに、必要とされている各種制度や相談窓口の周知を図る。